



可也人権だより

3

MAR 2024

糸島市人権・同和教育推進協議会 可也支部事務局 しまてらす TEL/FAX 327-1734

今年度をふりかえって

糸島市人権・同和教育推進協議会
可也支部長 一ノ瀬 昌純

今年度は5月8日に新型コロナが5類感染症に位置づけられ、これまでの様々な規制が緩和され、ようやく社会はアフターコロナに向け動き出しました。こうした状況の中で市同協可也支部では、4月の総会で承認された事業計画に基づき、右記の事業を実施してきました。

7月には県の同和問題啓発強調月間の取り組みの一環として、8日の午前中に街頭啓発を、午後から高等学校校長の齋藤真人さんの講演会を予定しておりましたが、災害級の大雨予報が出されたため、残念ながらいずれも中止しました。

人権の花運動は、6月に可也小学校の3年生や先生方、地域の役員の方々が苗を植え、収穫したヒマワリの種を、11月に3年生が風船にメッセージとともにつけ、校庭から一斉に放ち、今年度も色とりどりの風船が晴れ渡った大空に舞い上がっていきました。子どもたちのメッセージが日本中の多くの人々に届くことを祈っております。

また11月は、フィールドワークを実施し、大刀洗平和記念館では戦闘機や旧陸軍太刀洗飛行場の歴史などの展示物の見学や、大空襲により犠牲になった31人の児童たちの悲劇についての朗読会に参加しました。その後、その悲劇の場所となった頓田の森を実際に訪れ、戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて感じました。午後からは、浮羽歴史資料館と大石堰で、筑後川から安定的に取水するため、5人の庄屋を中心に農民が一体となって取り組んだ灌漑工事についての苦労や、先人たちの技術について学びました。

12月4日～10日までの人権週間事業の一環として、12月2日に、午前中はイオン糸島及びスーパービバホーム各店頭で、行政区長や役員の方々の参加により街頭啓発を行い、啓発チラシや物品の配布を行いました。午後は、健康福祉センターふれあいにて人権映画祭を開催。映画上映に先立ち、人権標語の優秀作品の表彰式を行いました。人権標語は毎年、可也小学校6年生を対象に募集を行っており、92名の応募作品の中から、最優秀賞1人、優秀賞4人を表彰しました。映画は「荒野に希望の灯をともし」を上映。2019年にアフガニスタンで用水路建設に取り組む中で銃撃され亡くなられた中村哲さんの生き方を追ったドキュメンタリーで、彼の誠実な人柄と心にしみる言葉、そしてゆるぎない信念にもとづく行動に深く感動させられました。

最後に、2024年は、衝撃的で大変悲しい幕開けとなりました。能登半島を襲った大地震により、多くの人命と財産、そして平和な日常生活が一瞬で奪われました。犠牲になられた方々のご冥福と1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

令和5年度 主な活動報告

月	日	事業内容
4	22	市同協可也支部総会
5	15	人権の花運動(種まき)
6	14	人権の花運動(苗植え)
7	8	街頭啓発活動(豪雨により中止)
	8	人権講演会(豪雨により中止)
10	21	校区文化祭
	22	人権の花運動のパネル展示
11	9	人権の花運動(種飛ばし)
	11	師吉団地行政区研修会 「LGBTQについて」
	16	フィールドワーク 大刀洗・朝倉・うきは方面
12	23	井田原行政区研修会 「身近な犯罪・いじめについて」
	2	街頭啓発活動 入浴剤・ウエットティッシュ 配布
	2	人権映画祭 可也小6年生人権標語表彰 「荒野に希望の灯をともし」上映

人権だより 発行(6月・11月・1月・3月)



教えてください！ あなたの「うれしかったこと」

1月に募集しました、「うれしかったこと」メッセージへ、多くの方にご応募いただきました。ありがとうございました。その中から10作品を紹介します。

昨年ある小学校6年生の人権標語の中で私の心に刺さった標語がありました。簡単な言葉だけど、重みがあって、何回も自分に言い聞かせるだけで、元気が出ます。老いも若きもいい言葉です。「いいんだよ 生きてるだけで いいんだよ」と、嬉しい標語でした。

石橋久美子 さん (60代 師吉団地)

私がうれしかったことは、横断歩道を渡ろうと車が通り過ぎるのを見計らっていた時、車が停まってくれたことです。心をポツとあたためてくれるこんな車が増えたように思います。人の優しさに気づけたら、自分も優しくなれる気がしてうれしいです。

宇 さん (51才 行合)

ぼくがうれしかったことは、運動会でソーラン節をおどっていると、仲がとても良い同じサッカー部でひきつ小学校の子が、目の前でうれしそうに見てくれていた事です。だれかにかんがっている所をみられるとうれしいし、わざわざ来てくれたからです。

岡崎友哉 さん (11才 師吉)

私がうれしかったことは、志摩中学生のあいさつです。私は大学進学で地元をはなれました。自転車ですり過ぎる中学生にあいさつされると「糸島・志摩に帰ってきたぞ」とうれしくなるのです。私も、志摩中出身として、中学生のあいさつを誇りに思っています。

ヌーピーヌーピー さん (23才 師吉)

私がうれしかったことは、実家の姪からの言葉です。「いつでも家に帰って来てね。一緒に暮らそう。私にはお母さんが2人いると思っとうけん。」1人暮らしの私を気遣ってくれます。その気持ちだけで、今日も元気に暮らせています。

まゆばあば さん (65才 稲留)

紅葉のきれいな時、糸島にある火山に友だちと家族でのぼりました。とちゅう、困難もありましたが、それをのりこえて何十分かあるいて行くと、糸島の海が見えてきました。とてもきれいな景色で、たっせいかんがあり、うれしい気持ちになりました。

明希 さん (7才 新開)

うれしかったことは、友だちとはじめて、ヤギにえさをあげたことです。わたしは、さいしょにえさをあげたとき、すごくこわかったけど、子ヤギは、ペロペロ、口をなめてかわいかったです。大人のヤギもなれてくると、こわくなくなり、楽しかったです。

れみ さん (9才 小金丸西)

うれしかったことは、福岡のよせんでつうかし、れんしゅうで休む日もなく、おしえてくれた人のおかげで、冬の全国大会出場けっていしました。九州大会は、みんなうまくて、ふあんだったけど、いけたときは、感どうしました。

手老めいたろう♥ さん (8才 新開)

私がうれしかったことは、「クリスマスおはなし会」が3年ぶりに志摩館3階の会議室で出来た事です。親子で参加して下さった子どもさんたちの笑顔が、とっても幸福いっぱいのお顔で、おめめがキラキラでした。うれしくて感謝です。

キョンキョン さん (64才 稲葉)

うれしかったことは、わたしの8才のたん生日に、キッザニアに行くことができてうれしかったです。大きくなったらCAさんになりたいから、CAさんのおしごとが体けんできてうれしかったです。

いちご さん (8才 新開)

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございます。

掲載10作品に絞るのに大変苦労しました。何気ない日常生活での気付き・感謝や報われた努力等の作品を拝読し、皆さんの豊かな感受性に触れられたことで嬉しくなりました。

糸島市人権・同和教育推進協議会 可也副支部長 赤松 純一

